

令和5年度 事業報告書



令和6年3月31日
社会福祉法人 唐池学園

目 次

社会福祉法人 唐池学園	．．．．．	P 1
児童養護施設 唐池学園	．．．．．	P 5
児童養護施設 強羅暁の星園	．．．．．	P 11
乳児院 ドルカスベビーホーム	．．．．．	P 15
保育所 吉岡保育園	．．．．．	P 21
保育所 つぼみ保育園	．．．．．	P 25
障害者支援施設 貴志園	．．．．．	P 29

令和5年度 社会福祉法人唐池学園 事業報告書

○ 全体の総括

令和5年度に強化する取り組みとして位置付けた7つの項目のうちの6つについて、一定の成果（評価「3」以上）を得た。達成度の低い項目は、令和6年度に内容を含めて検討する。

詳細は、以下のとおりである。

No.	項 目	進捗状況	達成度	備 考
1	法人の課題整理と中長期計画の素案検討	法人課題は随時対応中	2	中長期計画は未着手
2	予算・決算及び日常の会計処理の精度向上 【会計研修実施、予算・決算ヒアリングの強化】	決算ヒアリング 5/9 実施 予算ヒアリング 2/22 実施 会計研修 2/8 実施	4	各ヒアリングと会計研修開催による効果があった。
3	会報「雑品倉庫」の普及促進 【紙面充実、周知方法検討等】	令和5.7月 2,000部発行	4	紙面の充実が図られた。
4	コンプライアンス意識の向上 【各種研修実施 他】	ハラスメント防止対策 Web セミナー共同視聴・意見交換会の開催	3	窓口担当者の意識向上を図った。
5	「法人研修計画」の遂行と効果測定【PDCAの強化】	新任職員研修 3回 中堅職員研修 0回 会計研修 1回 労務研修 1回 その他 1回	3	昨年11月開催予定の新任職員フォローアップ研修を本年4月に延期し開催。中堅研修は来年度に見送り。
6	メンタルヘルスマネジメントの促進 【産業医の活用、課題整理、研修、他】	産業医による毎月の面談及び相談を実施 8/29 マインドフルネス講座を開催	3	毎月の産業医面談実施により一定の効果が見られている。
7	地域における公益的な取り組み「吉岡買物支援プロジェクト」協力の継続	車輛及び人員の貸出し	4	法人の知名度の向上

※ 「達成度」を5段階で表記（5を最高位として自己評価）

○ 人材育成（法人主催の研修実績報告）

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	R5 年度新任職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人としての基本的な心得（理事長） ・人権擁護と虐待の防止（田中理事） ・宣誓（新任職員） ・R5 新任職員：14名
4月24日 -25日	R4 新任職員フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長講話 ・職場の報・連・相とコミュニケーション ・体験発表（グループワーク） 講師：貴志園 塩田課長 受講者：R4 新規採用職員：8名
8月3日 ・7日	ハラスメント防止対策 Web セミナー共同視聴・意見交換会	思わぬリスク!!ハラスメントの実態と対応策 【共催】辻・本郷 税理士法人/辻・本郷 社会保険労務法人/TH 弁護士法 対象：各施設のハラスメント窓口担当者 実績：計11名出席
8月29日	マインドフルネス講座	講師：厚木兎相 児童心理師 石川 智さん 出席者：理事長以下各施設の長等8名 事務局：ドルカス百瀬心理士、本部 勝俣
11月27日 -28日	R5 新任職員フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長講話 ・職場の報・連・相とコミュニケーション ・体験発表（グループワーク） 講師：貴志園 塩田課長 受講者：R5 新規採用職員：12名
2月8日	会計研修	(1) 予算・決算で注意すべきこと (2) 消費税が「簡易課税」から「本則課税」に変わった場合の対応 講 師：西迫会計事務所 石井氏、竹田氏、坂上氏 受講者：各施設の会計担当者12名

○ 年間行事等報告

1 会議等

実施月日	名称等	内 容 等
5月12日	第三者委員会	令和4年度報告等 主任児童委員3名
5月19日	監事監査（会計）	長井監事（久良岐乳児院を訪問）
5月20日	監事監査（業務）	柏倉監事（ZOOM）
5月25日	理事会 （R5-第1回）	1 決議事項 ① R4-事業報告・計算書類等の承認の件 ② 次期役員選任候補者の推薦の件 ③ 唐池学園の施設整備計画（案）の承認の件 ④ 就業規則の変更の件（保育所） ⑤ 県指導監査 指摘事項の改善報告の件 ⑥ 貴志園の運営規程の変更の件 ⑦ 貴志園の管理者の変更の件 ⑧ つばみ保育園の課題改善の件 ⑨ 定時評議員会の招集の件

実施月日	名称等	内 容 等
		2 報告事項 ① 理事長の職務執行状況（R4 年度下半期） ② 唐池学園の課題改善の取り組み（改善委員会の設置等）の状況 ③ 強羅暁の星園の土地協議の進捗状況及びコンサルティングの状況
6 月 24 日	定時評議員会	1 報告事項 R4-事業報告の件 2 決議事項 ① R4-計算書類・財産目録の承認の件 ② 理事 6 名及び監事 2 名の選任の件 唐池学園の施設整備計画（案）の承認の件
6 月 24 日	理事会（R5-第 2 回） * 招集決議の省略	1 決議事項 理事長の選定の件
9 月 29 日	理事会 （R5-第 3 回）	1 決議事項 ① つばみ保育園の給食業務委託の入札の件 ② 唐池学園の設計・管理業務委託入札の件 ③ 貴志園の就業規則の変更の件 ④ 懲戒委員会開催に係る審議の件 2 報告事項 ① 唐池学園の課題改善の取り組み状況 ② 強羅暁の星園の土地協議の進捗状況 つばみ保育園の課題改善の状況
11 月 13 日	理事会（R5-第 4 回）	1 決議事項 ① つばみ保育園の給食業務委託契約の締結の件 ② 唐池学園の設計・管理委託契約締結の件 ③ R5-①補正予算の承認の件 ④ 役員等報酬規程の変更の件 ⑤ 園規則変更の件（吉岡・つばみ） 2 報告事項 ① 理事長の職務執行状況報告 ② 子育て短期支援事業の開始の件 ③ 唐池学園の課題改善の取り組み状況 ④ 強羅暁の星園の土地協議進捗状況及びコンサルティングの状況 ⑤ つばみ保育園の課題改善の状況 ⑥ つばみ保育園の保護者対応等の件 ⑦ 障害者相談支援事業の件 ⑧ 児童発達支援センター「もみの木園」の指定管理受託に向けた準備の件
3 月 8 日	理事会（R5-第 5 回）	1 決議事項 ① R5-②補正予算案の承認の件 ② R6 事業計画案の承認の件 ③ R6 収支予算案の承認の件 ④ 法人の重要な職員の選任の件 ⑤ 吉岡保育園の定員変更の件 ⑥ 各施設の就業規則の変更の件 ⑦ 貴志園の運営規程の変更の件

実施月日	名称等	内 容 等
		⑧ 貴志園の管理者の変更の件 ⑨ 役員賠償責任保険契約の締結の件 2 報告事項 ① 唐池学園の課題改善の取り組み状況 ② 強羅暁の星園の土地協議の進捗状況及びコンサルティングの状況 ③ つぼみ保育園の課題改善の状況

2 指導監査

実施月日	施設名称等	内 容 等
9月14日	強羅暁の星園	指摘事項なし
10月25日	吉岡保育園	指摘事項なし
	つぼみ保育園	現地での口頭指摘2件（改善済）

3 委員会

実施月日	名称等	内 容 等
10月17日	懲戒委員会	貴志園の案件

4 その他

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	辞令交付	新任職員12名、その他7名 ※レンブラントホテル海老名で開催
通年(随時)	法人運営会議	実施月：7/3、12/6、1/29
通年(随時)	事務担当者会議	開催実績なし

○ 全体の総括

令和5年度も5名の職員が長期休職となり、うち2名は退職に至っている。職員体制を整えられない状態がここ数年続いており、オンラインや実際の見学会を定例化し、職員確保に取り組んで来た。9月には栄養士を補充でき、2名体制になったことで食生活や行事への取り組みに繋がった。また次年度に7名のケース職員が採用できたが、うち4名が実習生やアルバイトから結びついた。中途半端な研修でなく、丁寧な育成を計画している。

子どもたちへの支援では高齢児の怠学や不登校の問題、退学者の生活状況や就労への難しさが変わらず続いた。また、過反応や過干渉など個々の発達の特性への対応には日常の工夫や放課後デイサービスの利用などで生活の落ち着きを図ってきた。

建て替えについての検討の機会は多く持ち、職員間で計画や進捗状況、建物の配置や設計を共有し、設計士にも会議に参加してもらい直接意見を聞き取り入れたりしてもらっている。子どもにも計画途中の説明やアンケートで要望を聞いたりしているが、今後も話題に上らせながら園全体で建て替えへの期待感を高めていきたい。

○ 取り組みの結果

1 子どもへの支援

- (1) 施設長が主になり定期的に養育ブックの読み合わせを実施するなど、子どもたちの安全・安心な生活への意識を継続的に持つよう取り組んだ。
- (2) 下着の取り扱いなど通して、生活の中で性を意識できるようにしている、
- (3) 継続した生い立ちへの取り組みができている子どももいるが実施が遅れているケースもあり、時期を逸さないようにしたい。
- (4) 1名が高校入学早々に不登校状態となり、検討の上転校という形で高校生活を継続することにした。また昨年度末に中退した子どもは就労支援に乗れずに1年が過ぎ、本人の力のなさと共に自立への支援の困難さも感じている。
- (5) 自立支援計画に向けた子どもへの聴き取りは定着したが、参加は高校生数名のみ。
- (6) 「すこやか日誌」の活用範囲は広がっている一方、漏れへの注意や記録が長文になりがちで、拾捨の選択の工夫が必要だろう。また記録や読む時間の確保も課題である。

2 親・家族との関わり

- (1) 保護者自身が生い立ちや精神的な課題を抱えていて、やり取りが困難な場合もあった。子どもとの直接のライン交換により、職員との連携に支も出ている。
- (2) 自立支援計画策定に向けて子ども自身に入所理由や家族への気持ちを聞き、また思いや意向を尊重するようにしている。
- (3) 定期的話し合いができているケースは自立支援計画の策定にも参加するケースが多い。生い立ち整理の場にも、少ないが参加もしていただいている。

3 建て替えに向けた取り組み

- (1) 会議での検討や係からの発信やアンケートにより共有や確認の場を持ってきた。
- (2) 11月に上原設計事務所と契約、相談や検討は密に実施してきている。
- (3) 社会的養育推進計画を含め、今後の児童養護施設の役割を見据えた取り組みを検討。
- (4) 令和6年度末の小規模グループケア6名に向け入所を調整。建て替えについての県との話し合いの中で、本園30名定員の相談を加えてきた。

4 地域や他機関等への支援、及び連携

- (1) 子育て支援の社会資源としての役割
 - ・里子支援は個別的に、また組織として協力して行ってきた。
 - ・要対協の参加はドルカスに移行、市とショートステイに向けての話し合いを重ねた。
- (2) 関係機関との連携、協力
 - ・児相との連携は課題を感じる事が多く、密な連絡と継続した話し合いが必要。
 - ・学校等や市、他機関とは個々のケースを中心に情報共有や連携に努めた。

5 職員の資質の向上

- (1) 怠学やスマホによる生活の乱れ等検討にあげ、担当任せでなく対応するようにした。
 - ・被措置児童虐待再発防止に向け児相の職員への聴き取りを実施、振り返りを行った。
 - ・社会的養育の今後については、建て替えの検討の中で学習や共有をしている。
- (2) 会議の大切さの認識には経験や個人の差があり、その差を縮める取り組みが必要。
 - ・毎週の会議前に各部屋会議を入れ始めたところ。今後若手の意見交換の場の確保を。
 - ・就労困難や怠学等高齢児への支援に偏って取り上げることが多かった。

○ 職員構成

令和6年3月31日現在

	施設長	FSW	里親支援 専門相談 員	職業 指導員	保育士 指導員	心理士	事務	栄養士	調理員	合計
常勤	1	1	1	1	27	1	1	2		36
非常勤					11	2	1		3	17

○ 定員等

令和6年3月31日現在

区分	本園	GH よんの家	GH なの家	(社会的養護自立 支援事業対象)	合計
定員	40	6	6		52
現員	28	4	5	1	38

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 新任職員の育成

- ア 新任2名のうち1名は1学期途中で、もう1名も年度末に病休となっている現実があり、養育という仕事の困難さやメンタルへの影響を改めて考えさせられている。
- イ 全体でも部屋でもサポートの配慮や話し合いを持つようにしてきたが、本人自身が辛さや悩みを吐露できる場や発信できる機会は少なかったのだろう。

(2) 職員全体の質の向上

- ア 被措置児童虐待再発防止については外部の2名を加え1年間話し合いを持った。次年度はその取り組みを具体的に実施する予定としている。
- イ すこやか日誌を活用により情報共有はしやすくなった。
- ウ 園内研修は建て替えが主になったが、必要に応じミニカンファを設定した。
- エ グループホーム担当が疎外感を持たず、また閉鎖的にならないようサポート職員を配置したが、病休職員が出たため機能できなくなり課題は継続となっている

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/2・3 他	新任職員オリエンテーション（講義、実習）	松川・辻
7/19	「児童養護施設等での養育・支援における環境づくり」 講師 石垣文氏	全職員
9/6	中高生インターネットネット研修	中高生・ケース職員等
9/20	「子どもの 福祉的生活・環境 をつくる」 講師 藤木隆男氏	全職員
5/17 11/22	「学園の基本設計の考え方」 講師 上原和氏	全職員
7/20～21 9/7 10/6 11/16 11/28 12/4 1/19	他施設見学 「光の園」「石井記念友愛社」 「守山学園」 「愛川町春日台センターセンター」 「バウムハウス」 見学 「白十字会林間学校」 見学 「東京家庭学校」 見学 「マギーズ東京」 見学	（*上原設計士同行） 安部、磯ヶ谷 * 安部、石合 * 安部、中里、亀田 安部、磯ヶ谷 * 安部、田中他 安部、松尾他 安部、松尾

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1 4/24～25 11/27～28 2/4	法人主催「新任職員研修」 「2年目職員フォローアップ研修」 「新任職員フォローアップ研修」 「会計研修」	松川、辻、鶴飼、加園 徳本、川本、鶴飼、加園 松川、鶴飼 原瀬、大西
9/16 11/2	県社会福祉協議会「社会福祉基礎知識」 「調理関係者研修会」	堀口 橋本、根本
10/12	関ブロ児童養護施設協議会「里親・地域」	川本
11/6～8 12/11	全養協主催「全国施設長研修会」 「社会的養護を担う 施設長研修会」(Zoom)	鶴飼 〃
6/19 7/6 2/21～22	神奈川県児童福祉施設職員研究会 「新任研修会」 「虐待を受けた子どものトラウマ支援」 「宿泊運営委員会」	松川、辻 石合 森
6/26 11/20 2/16	養護問題研究会 「全国大会」 神奈川支部研修会「社会的養護における 人材確保・育成・定着」 「高卒後の進路について」	安部、齋藤 安部、中里、川本 安部他
6/23 7/16 8/23	厚木児相主催「里親講座」 関東甲信越静協議会研修	鶴飼、加園、川本 〃

実施月日	実施内容	受講職員
6/16・7/7・11/21 10/8～	大和綾瀬地域児相主催「里親講座」 ひこばえ主催「里親支援者向研修会」 フォスタリングチェンジプログラム研修会 FCP ファシリテーター養成研修	鶴飼、加園、川本 加園、川本 " 川本
6/22	綾瀬市安全運転管理者講習会	小堀
	NPO 法人チャイボラ主催 新任職員研修「ちゃぼゼミ」 計7回(Zoom)	松川 次年度採用予定5名
6/4	神奈川県自閉症協会主催「自閉症スペクトラム症の人たちの育ち方・育て方」	川崎、宮内
7/6	ED ベンチャー 事例研修「家出する女の子」	葛屋
9/1～2 11/18	日本臨床心理士会 第42回大会「心理療法の共通性を探る」 「災害支援合同研修会」	磯ヶ谷 "
11/30～21	「社会的養育における自立支援と退所後ケア」	松尾
11/18	日本福祉大学リカレント講座「里親養育放火 ついでん機関人材育成プログラム」	川本
1/15	ブリッジフォースマイル主催「不登校児童への支援」	葛屋
1/24	明治安田こころの健康財団 発達専門講座 「対人関係を考える」	磯ヶ谷

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	2・3日 新任職員オリエンテーション 6日 中1入学式 始業式 入学進級を祝う会食 7日 小1入学式 19日 職員歓迎会	1日 法人辞令交付式・新任研修
5	7日 保護者会・青空フェスティバル 12日 職員旅行第1班 20日 3号室レク 26日 職員旅行第2班	12日 法人第三者委員会 25日 法人理事会
6	7日 綾瀬市土砂災害通報訓練 9日 職員旅行第3班 9日・16日 厨房害虫駆除 23日 職員旅行第4班 28日 中学校との連絡会 *職員健康診断	4日 小学校美化作業（作業備品協力） 24日 法人評議員会

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
7	6日 予算会議 7日 職員旅行第5班 21日～小中高夏休み 23日～幼稚園夏休み 24日 小学校との連絡会 25日 中高生ボーリング大会（自治会）	29日 吉岡地区盆踊り大会
8	12日 バーベキュー・花火大会 22日 中学生レク 24日 綾瀬市主任児童委員来園・交流 27日 夜間避難訓練	3日 子ども会バーベキュー 本厚木南口飲食店食事招待（各部屋）
9	1日 始業式 炊き出し訓練 14日 県子ども意見表明権事業 綾南地区民生委員見学	29日 法人理事会
10	29日 第50回唐池祭	21日 吉岡地区レクリエーション大会
11	22日 職員歓迎会 11日 インフルエンザ予防注射接種① 24日 第三者評価事業	3日 吉岡地区ハロウィンパーティー 13日 法人理事会
12	5日 インフルエンザ予防注射接種② 6・13・17日 職員忘年会 8・15日 害虫駆除 9・17日 大掃除 24日 クリスマス会（各部屋 Zoom） 28日 もちつき	3日 子ども会クリスマス会
1	1日 元旦祝賀会 13日 地域ボラとの新年会	
2	3日 節分豆まき 13日 寺尾地区民生委員見学 *中3入試	
3	8日 中3卒業式 16日 幼稚園卒園式 19日 小6卒業式 卒業生を祝う会 23日～春休み 23日 1号室レク 25日 本厚木南口飲食店有志ランチ会 26日 2号室レク 消火訓練（綾瀬市消防本部来園） 28～29日 5号室・6号室・ なのの家レク 30～31日 よんの家レク	8日 法人理事会

令和5年度 強羅暁の星園 事業報告書

○全体の総括

令和6年2月に隣接している強羅修道院が閉院。約80年に渡りともに子ども達の暮らしや学びを支え見守って下さったマスールが、強羅の地から姿を消した。少子高齢化が進み、消滅可能性自治体にも分類されてしまったこの箱根で、残された私達は子ども達の安心&安全の生活をどう守るべきなのか、判断が求められている。

当園でも施設の存続に向けた様々な可能性を視野に入れながら、職員の労働時間や環境を見直すべく、働き方改革を継続して行ってきたが、デジタル化したツールの運用方法やコストの問題、職人型組織からの脱却に向けた業務整理とそこに伴うコミュニケーション等、前進しているからこそその乗り越えるべき課題も多く、調整に時間を要した1年だった。

○取り組みの結果

①建て替え計画の始動

令和5年7月に学校法人函嶺白百合学園の理事長のもとを訪問。過去の前運営法人を引き受けざるを得なかった経緯と現状を説明し、今後の事業継続についても理解と協力を求めたが、令和5年度末時点でも未だ明確な回答がない。老朽化がさらに進むなか、土地問題を早急に解決したうえでの施設整備計画の始動は急務である。

②働き方改革の定着

リーダー職員が中心となり勤務の見直しを行い、超過勤務の改善は継続的に行えている。今後はリーダー職員が負っている業務負担をどう軽減するかや、直接処遇職員の削減できた時間を職員や施設の成長にどう繋げ、活用していけるかが課題となっている。

③組織力の強化（例：役割、研修計画等の見直し、人事評価システムの構築と運用）

早期退職の予防策として入職直後の不安を軽減する目的で新たに新入職員受け入れ（オンボーディング）研修を試みた。今後は取り組みの効果を測定評価し、来るべき環境変化に対応できる職員を育成できる仕組みづくりを目指していく。

○職員構成

令和6年3月31日現在

職種	園長	統括主任	事務員	指導員 保育士	支援員	家庭支援 専門相談員	里親支援 専門相談員
常勤	1	0	1	15	0	2	1
非常勤	0	0	1	1	4	0	0
職種	自立支援 担当職員	個別対応 職員	看護師	心理士	嘱託医	合計	総数
常勤	1	1	1	0	0	23	30
非常勤	0	0	0	0	1	7	

○定員等

定員50名（神奈川県47名 相模原市3名）現員46名

令和6年3月31日現在

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	専門	計
男子	5	1	1	1	0	1	2	2	1	(1)	0	3	2	3	0	1	23名(1)
女子	1	1	2	1	2	2	1	3	1	0	2	3	2	1	0	0	22名
計	6	2	3	2 (1)	2	3	3	5	2	(1)	2	6	4	4	0	1	45名(1)

※（ ）は措置停止中

○人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

①持続性の低い業務の在り方の見直し（超過勤務の見直し、業務のデジタル化等）

課題改善に向けた取り組みはリーダー職員が中心となり継続的に実施できたものの、課題に取り組み続けるリーダー職員の人員が減少したこともあり負担が増えている。現状の職人型の組織（属人的組織）から脱却するためにも、それぞれの役割を明確にした上で適切に権限委譲やジョブローテーションできる仕組みと現場職員の意見をより反映し主体性をもちながらモチベーションを継続できる仕組みづくりが求められている。

②人事評価制度を導入し、職員自身がキャリアプランを描けるよう試みる。

職員を育てる仕組みと育ちの評価をする仕組み、またその基盤となるどう育ててほしいかのビジョンの構築にていねいに時間を費やし、人事評価制度の導入に向けた準備を進めた。令和6年度の後期には運用開始できるよう（必達）最終の調整を図っている。

③従来の専門職に特化した内容の研修の在り方を見直し、社会人としてスキルアップが可能な、多種多様な研修を取り入れる。

業務の効率化を図る上での一般的なビジネススキル習得を目的としたオンデマンド研修「SmartBoarding 研修」を導入済み。施設独自の研修プログラムも作成し、全職員に活用できるよう準備を重ねた。令和6年度には人事評価制度と紐付け、定着を図りたい（『育成と評価』の仕組みづくり）。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
常時	一般ビジネススキル研修 「SmartBoarding 研修」	22名
4月12日	新任職員向け研修 「メンタルヘルスとセルフケア」	3名
6月28日	アセスメント研修 「ケース検討会」	3名
7月7日	アセスメント研修 「ケース検討会」	3名
2月14日	被措置児童虐待防止研修 「不適切な関わりについて」	3名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月1日	法人内研修「令和5年度 新任職員研修会」	3名
4月24日	神児研主催 「発達に課題のある子ども達との付き合い方」	1名
4月24～25日	法人内研修 「新任フォローアップ研修」	2名
5月1日	神奈川県児童福祉協議会主催 「これからの社会的養育を考える」	1名
6月5日	里親センターひこばえ主催 「フォスタリングチェンジプログラム」	1名
6月16日	里親センターひこばえ主催 「社会的養育の必要な子どものライフストーリーワーク」	1名
6月19日	神児研主催 「新任職員研修会」	3名
6月21日	NPO 法人チャイボラ主催 「新任職員研修会①」	3名
6月22日	里親担当者会主催「里親支援専門相談員の実践報告」	1名
7月3日	神児研主催 「神児研野外活動事前研修会」	3名
7月3日	ブリッジフォースマイル主催 「第14回全国施設職員オンライン勉強会」	1名

実施月日	実施内容	受講職員
7月5日	箱根中学校成人教育委員会主催 「コツコツ運動！～骨粗鬆症について知ろう～」	2名
7月6日	神児研主催 「虐待を受けた子のトラウマ支援」	2名
7月7日	関東ブロック児童養護施設研究会主催 「第58回 関東ブロック児童養護施設研究協議会」	1名
7月10日	神児研主催 「野外活動研修会」	3名
7月19日	養問研主催 「児童養護施設等での養育・支援における環境づくり」	1名
8月3日	法人内研修 「思わぬリスク!? ハラスメントの実態と対応策研修」	2名
8月28日	神奈川県安全運転管理者会連合会主催 「令和5年度安全運転管理者等法定講習会」	1名
8月29日	法人内研修 「マインドフルネス研修」	2名
9月2～3日	西湘なでしこ会主催「一泊研修会」	1名
9月8日	ASS&里親センターひこばえ主催 「令和5年度 あすなろ・ひこばえ共催研修会」	1名
9月20日	NPO 法人チャイボラ主催 「新任職員研修会②」	3名
9月20日	神児研主催「施設の実践報告 ゆりかご園」	2名
9月22日	神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課主催 「かながわ子どもの意見をきくためのアドボカシーセンター(仮)の設置のための児童養護施設等との意見交換会」	2名
9月22日	箱根中学校主催 「携帯電話安全教室～正しい使い方とトラブル予防～」	1名
9月25日	小田原児童相談所主催 「初任者向け 管内施設との合同研修会」	3名
10月12～ 13日	関東ブロック児童養護施設協議会 「第37回関東ブロック児童養護施設職員研修会神奈川大会」	1名
10月23日	小田原児童相談所主催 「第1回虐待問題研修会」	5名
11月6～ 8日	全国児童養護施設協議会主催 「第76回全国児童養護施設長研究協議会 兵庫大会」	1名
11月17日	小田原警察署管内防犯指導員協議会主催 「小田原警察署管内防犯指導員協議会研修会」	1名
11月18日	箱根の森小学校 成人教育委員会主催 「自分からおやすみなさいを言えるようになるコツ」	1名
11月27 ～28日	法人内研修 「新任職員フォローアップ研修会」	3名
11月30日 ～12月1日	A S S 主催 「あすなろサポーター養成研修」	1名
12月5日	県中央児童相談所主催 「こどもの権利について」	1名
12月11日	小田原児童相談所主催 「管内児童福祉施設職員等職員と小田原児童相談所との合同研修」	1名
12月12日	神児研主催 「卒園生のその後の状況から考える」	1名

実施月日	実施内容	受講職員
12月12日	公文教育研究会 法人事業部主催 「KUMON学びば 指導で困ったときの思考の整理術」	1名
12月13日	神奈川県社会福祉協議会主催 「地域共生社会と人材育成」	1名
12月20日	NPO 法人チャイボラ主催 「新任職員研修会③」	3名
1月15日	神児研主催 「乳児院と児童養護施設の相互理解の為の交流研修」	2名
1月24 ～25日	関東ブロック児童養護施設協議会主催 「第3回 関東ブロック事務・運営管理者研修会」	1名
1月26日	小田原児童相談所主催 「第2回 虐待問題研修会」	4名
3月8日	神児研主催 「施設文化を考える」	3名
3月20日	NPO 法人チャイボラ主催 「新任職員研修会④」	3名
3月21日	BOSC 主催 「物価上昇局面における施設老朽化対策のポイント」	1名

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4		幼稚園入園式 小・中・高入学式
5	児童職員健康診断 施設内レク大会	箱根中学校運動会 小学校修学旅行
6		文体主催 卓球大会 中学校修学旅行
7	真鶴海水浴、男子寮キャンプ	中学校三者面談 終業式 夏休み
8	夏の帰省 混成&女子寮キャンプ	中学校環境整備 文体主催 野球&ソフトボール大会
9		始業式 健民祭
10	児童職員健康診断 園内ハロウィン 暁の星会（卒園生と元職員のつどい）	中学校文化活動発表会 小学校運動会 箱根町ロードレース大会
11	お墓参り 七五三 消防署立会い訓練	中学校通学路清掃 箱根町交歓子ども 会 文体主催 駅伝大会
12	園内クリスマス会 冬の帰省	終業式 冬休み 強羅自治会地区清掃
1	どんど焼き	始業式 神児研主催 送別マラソン大会
2	節分 あすなろ作品展	文体主催 あすなろ作品展
3	ひなまつり 卒園を祝う会	中3お別れ遠足 小・中・高卒業式
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種（随時） ・ホテルインディゴ強羅のバースデイランチ（毎月） ・避難訓練（毎月） ・誕生日会&バースデイ外出（随時） 		

○ 全体の総括

新型コロナウイルスが5類になり判断の基準が難しくなる中、情報収集や職員間で考え方のすり合わせを密にし、日々の養育や行事、家族支援等の取り組みを広げていった。

また職員同士のコミュニケーションを図るため、勤務以外で交流できる懇親会等も再開した。

年度初めは職員1名の余裕があり養育の取り組みに活かすことができたが、年度途中で職員2名が退職、夜勤に配慮が必要な職員2名、介護休業取得職員2名と年度後半は勤務体制が厳しくなった。事務所職員と厨房職員のフォローや養育内容の工夫で乗り切ったが、職員の負担はかなり大きかった。

本年度予定していた本体施設の内装工事は助成金申請の関係で令和6年度に延期した。

里親支援専門相談員の加配については県と他の加配施設との会議を行い、情報交換と里親支援強化について検討を行った。

○ 取り組みの結果

1. 養育の質の向上・養育環境の整備

(1)新型コロナウイルスの5類移行に伴い遠足や一泊旅行での公共交通機関利用を再開。また買い物や公園への散歩などの機会も増やし、子どもたちの経験を広げることができた。

(2)年度初めの職員増を活かし日中小規模ケアを試行的に各部屋で実施(2グループ)。年度途中で職員が減ったため通常の合同の形に戻すが感染症等により実施できない日が多くなり、各部屋交互に実施することで日中小規模ケアを活かした養育を行うことができた。

2. 職員の意思疎通を図る

(1)職員会議での担当職員による個人目標の発表を継続。アフターフォローでの子どもの様子を担当が報告するなど職員会議で職員が発言する機会を増やした。

(2)新型コロナウイルス5類移行後の取り組みについて各種会議にて随時話し合い連携を図った。

3. 子どもの権利擁護という視点での養育

(1)「人権ヒヤリハット」「人権にやりほっと」アンケートを継続実施。「人権ヒヤリハット」では初めて職員間に関する記載があったため、職員関係も子どもの環境に含まれることを再確認し、経験年数ごとのグループに分け振り返りを行った。

4. 職員のメンタルヘルス

(1)引き続き臨床心理学博士テリー先生による月1回の面接と産業医による面接を実施。それぞれ目的にあわせて活用することで施設としての取り組みの検討に繋がっている。

5. 里親・里子支援

(1)里親支援に関する連絡会の回数が増え、マッチングや里親委託後のフォローについて施設間や関係機関と連携して共に取り組む機会が増えた。

(2)里親支援専門相談員の2名体制を活かした役割分担について試行しながら検討している。

6. 施設の多機能化に向けた取り組み

(1)ショートステイ事業実施に向け唐池学園、綾瀬市と話し合いを重ねると共に所管児童相談所との情報共有を行い今後の取り組みについての意見交換を行った。

(2)推進計画のワーキンググループやヒヤリングで県の意向を確認しながら、自施設で取り組めることについて検討を重ねている。

7. 修繕及び整備内容

(1)原水槽ポンプ交換工事

(2)浄化槽内散気管交換工事

(3)養育室流し台系統排水管修繕

(4)散歩車塗装 (4台)

○ 職員構成

令和6年3月31日現在

	施設長	家庭支援専門 相談員	里親支援専門 相談員	心理 相談員	事務員	里親センター
常勤	1	2	2	1	1	1
非常勤						3

	看護師	保育士	児童指導員	栄養士	洗濯・掃除	嘱託医	合計
常勤	3	19 (1)	3	5 (1)	0	0	38
非常勤	2	3	1	0	5	1	15

()は、うち産休育休中職員

○ 定員等

定員25名 現員は下表

令和6年3月31日現在

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		合計
措置児	5名	10名	5名 (1)	0名		20名 (1)
一時保護児	1名	0名	1名			2名
レスパイト						

()は、うち措置停止児

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取り組みの結果

(1)リーダー会議にて人材育成に関するしくみの見直しを検討。来年度より新任職員の指導担当制をなくし新たなしくみを試みながら検討していくこととした。

(2)各種マニュアルは随時更新し、職員会議で全職員に周知。看護マニュアルは状況に応じた判断がしやすいよう図式化することで、緊急時の対応に活用できていた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

	実施日	研修名	受講職員
法人	4/1	新任職員研修 (於 海老名)	坂本・佐藤あ・菅谷 幅・出町
	4/24-25	2年目職員フォローアップ研修(於 箱根)	百瀬
	11/27-28	新任職員フォローアップ研修(於 箱根)	坂本・菅谷・幅・出町
院内 研修	11/14	乳幼児応急手当講習会【彦坂康朗氏】	28名
	9/20	防犯研修 【大和警察署】	24名

(2) 施設外研修

	実施日	研修名	受講職員
県内 乳児 院関 係	5/23	看護師合同研修会(於 デュミナス)	栗原・川上
	7/12	合同研修(於 聖園ベビーホーム)	横山・杉江・川上
	9/25	事例検討会【竹内直樹氏】(於 久良岐)	矢内・佐々木・川上 春日・百瀬
	11/10	合同研修	川上・井上
	1/29	事例検討会【竹内直樹氏】(於 白百合ベビーホーム)	川上・佐々木・百瀬
神児 研	4/24	4月研修「発達に課題のある子どもたちとの付き合い方」	出町
	5/19	救急法・AEDの使い方	幅・佐藤あ 菅谷・坂本
	6/19	新任研修	幅・佐藤あ・菅谷 坂本・出町
	7/6	7月研修「虐待を受けた子のトラウマ支援」	小林
	9/15	神児研と五縣市児童相談所職員との業務連絡会	佐々木・川上
	10/1	県内乳児院 合同研修	川上・井上
	1/15	乳児部研修	川上・佐々木・山口
全乳 関 ブ ロ	6/16	関ブロ乳児院研究協議会(於 埼玉)	矢内・川上・橘川
	7/6~7	全乳職員研修(於 岐阜)	矢内・柏木、設楽
	10/5~6	全乳協議会(於 長崎)	久保田・矢内
	11/28~29	関ブロ職員研修(於 宇都宮)	中川・中野
	2/27~28	乳児院上級職員セミナー	木股
	2/29	乳児院医療看護セミナー	春日
子 ど も の 虹	5/31~6/2	乳児院職員指導者研修(あかし)	平本
	11/21~22	乳児院職員指導者研修	山中
	3/7	テーマ別研修(オンライン)	石川

	実施日	研修名	受講職員
その他	1/12.2/2	基幹的職員研修	清水(フォローアップ)山口
	1/16~17	中堅職員研修・チームリーダー研修会(於県社協)	菅原
	10/12~25 オンデマンド 10/26 オンライン	アレルギー研修	佐藤(香)
	10/20 11/21	児童福祉施設職員研修 人権研修 中堅職員(於県社協)	井上
	10/4・11/6	児童福祉施設職員研修 人権研修 新任職員(於県社協)	杉浦
栄養士	9/11.2/7	栄養士会研修	横山・本橋
	11/2	栄養士会調理研修	横山・本橋
	3/16~17	子どもを対象とした摂食嚥下の基礎・基本研修	横山・横山
里親 S W	6/5	「これからの社会的養育 里親養育と支援 フォスタリングチェンジプログラム」	柏木・杉浦
	6/16	「社会的養育の必要な子どものライフストーリーワーク」	柏木・杉浦
	7/8	「養子縁組に関する研修」	杉浦
	8/28	「進学までの道のり」	柏木・杉浦
	9/8	「里子の自立2」	柏木・杉浦
	9/14	「子どもアドボカシー研修」	柏木・杉浦
F S W	9/6~7	FSW 研修(於 ロフォス湘南)	柏木・橘川
	12/15~22	全国退所児童等支援事業連絡会(オンデマンド)	佐々木
	9/2.23.30 10/7.21.28 11/18 12/2.9 オンライン 12/2 対面	社会的養育における社会的養護を学ぶ	橘川
心理士	6/3	第2回乳幼児保健セミナー	百瀬
	6/30	「社会とのつながりを作る～居場所作りと生活支援～」	百瀬
	9/9	社会的養護における養育者支援プログラムの活用	百瀬
	10/8~10	SBI 財団心理職研修	百瀬
	1/10~3/31 全3回 オンデマンド	医療法人 春乃会 乳幼児精神保健入門セミナー	百瀬
	週1回	医療法人 春乃会 あおきメンタルクリニック 乳幼児 家族外来	百瀬

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容		
	養育	食育	地域交流
4月	遠足・誕生日会	お食い初め・パン献立 魚丸ごと献立	
5月	子どもの日の会 菖蒲湯 遠足・誕生日会	子どもの日献立 魚丸ごと献立 お食い初め	
6月	遠足	食育月間（企画・提案） お食い初め 魚丸ごと献立・とうもろこし	
7月	七夕会 遠足 誕生日会	七夕献立・お食い初め 魚丸ごと献立 土用の丑献立・とうもろこし	
8月	スイカ割り 遠足 誕生日会※コロナの為延期	スイカ割り とうもろこし 魚丸ごと献立	
9月	遠足・花火 誕生日会（8月合同） お月見会	流しそうめん・お食い初め お月見献立・焼き芋 秋の果物・野菜のお供え	盆踊り
10月	ハロウィン 運動会 遠足・誕生日会	さんまの塩焼き献立 焼き芋 ハロウィンおやつ	唐池祭 地区運動会 ふれあい祭り
11月	遠足・一泊旅行 誕生日会	魚丸ごと献立 焼き芋	
12月	クリスマス会 冬至（柚湯） 遠足	クリスマス献立 焼き芋 鍋献立	
1月	元旦・初詣 遠足・誕生日会	元旦：おせち料理 七草粥・鏡開き お食い初め 焼き芋・鍋献立	初詣
2月	遠足・誕生日会 節分 豆まき	節分献立 お食い初め 鍋献立・焼き芋	
3月	ひな祭り会・お花見 遠足・誕生日会 一泊旅行 総合避難訓練（唐池と合同）	ひな祭り献立 焼き芋 魚丸ごと献立	
毎月恒例	防災訓練 身体測定 嘱託医健診	パン献立 バイキング 食農教育（野菜・果物収穫） 小規模で一緒に調理	

令和5年度 吉岡保育園 事業報告書

○ 全体の総括

地域の老人ホームの交流については、年間を通して感染症が見られたため交流は見送りとなった。地域育児センター（園内開放）は再開し民生委員さんにお手伝いいただきながら交流や支援の再開ができたが、利用者についてはコロナ禍以前より減少する。

0歳児のみの紙オムツの無償提供の計画を、当初の予定通り0.1歳児を対象に無償提供し保護者の負担軽減が出来た。

保護者会の活動は今まで通りに行うが、保護者会会費の徴収をなくし活動にともなう費用は保育園の負担とした。

配慮を必要とする子ども対応について北里大学原先生の研修を実施した。

継続的な研修やサポート体制作り、行政などとの連携等が課題である。

園庭の土留め工事と砂の補充を行い砂の流出がなくなり安定した園庭が保てるようになり芝の張替えも予定通り行えた。

保育環境向上事業補助金を活用し、保育室等網戸や保育室の扉の改修、トイレの床の張替え等の修繕等行う事が出来た。

コドモンアプリを活用し写真などによるドキュメンテーション記録を充実させ、保護者にも配信が出来た。コドモン主催の研修配信も計画的に活用して行きたい。

○ 取り組みの結果

リトミック、体操教室、えいごであそぼう、絵画指導など外部の方のご指導を子どもと一緒に経験することにより保育士の実践スキルを高めることが出来ている。

地域の方のお手伝いによる、みそ作りや書初めご指導、民生委員さんのボランティアを通し地域交流も行えた。更に民生委員さんとの関りを充実させたい。

ベテラン保育士によるピアノの職員指導も続けており実践に役立っている。

年間を通して色々な感染症が見られ、保護者会の活動は新聞の発行や謝恩会などのみではあったが再始動することが出来た。

○ 職員構成

令和6年3月31日現在

	施設長	保育士	栄養士兼調理員	事務員	保育補助者	派遣保育士	アルバイト職員
常勤	1	5	1				
非常勤		4	1	1	1	7	1
常勤的非常勤		2					

○ 定員等

令和6年3月31日現在

区分	0歳	1才	2才	3才	4歳	5才	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
人数	7	12	14	14	12	14	73

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

コロナ禍明けで研修や職員間交流などの計画をし、全職員対象のバーベキューなども行う事ができたが、職員の精神面のサポートが不十分であったと反省する。

保育の内容については計画的に研修会議などを行い、子ども主体の保育を心掛けてくれた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4	人権、保健衛生計画について（春 感染症） 保育ドキュメンテーションについて 次回の研究発表に向けて+ヒヤリハット	常勤・非常勤職員
5	救急救命について（救命法） 保育実践 10 の姿「健康な心と体」ヒヤリハット	常勤・非常勤職員
6	事故（プール）、けがに対する対応 人権 保育実践 10 の姿「自立心」ヒヤリハット 障害児保育 北里大学 原先生研修	常勤・非常勤職員
7	食育について 保育実践 10 の姿「協同性」	常勤・非常勤職員
8	保育実践 10 の姿「社会生活との関わり」	常勤・非常勤職員
9	保育実践 10 の姿「道徳性・規範意識の芽生え」 災害（地震、火災、水害、）防犯マニュアルについて 半期振り返り（セルフチェックリスト等）	常勤・非常勤職員
10	保育実践 10 の姿「思考力の芽生え」 障害児保育 ヒヤリハット	常勤・非常勤職員
11	保育実践 10 の姿「自然との関わり・生命の尊重」	常勤・非常勤職員
12	保育実践 10 の姿「数量や図形、標識や文字等への関心・感覚」	常勤・非常勤職員
1	保育実践 10 の姿「言葉による伝え合い」	常勤・非常勤職員
2	救急救命について（救命法、AED） 保育実践 10 の姿「豊かな感性と表現」	常勤・非常勤職員
3	年間の振り返り（セルフチェックリスト等）	常勤・非常勤職員

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
6	綾瀬市保育会研修乳幼児救急救命法	杉浦、鮫島
7	全社協関東ブロック研究大会 施設見学（もみの木） つばみ保育園保育体験実習	高田、吉村 村井 吉村、北村、高田、 鮫島
8	幼児保育音楽研究会 ポスト待機児時代に向けて保育士に期待すること	中台 常勤、非常勤保育士
9	法人ハラスメント研修 歯磨き指導研修	高田、北村 中台、濱田
11	綾瀬市保育会保育事業大会	常勤職員
12	科学遊びの保育実践①	杉浦
1	キャリアアップ研修（保護者支援） 科学遊び実践② コミュニケーションの理解	村井 杉浦 村井、中台
2	キャリアアップ研修（保護者支援） コミュニケーションの理解 運動遊び 絵本の読み聞かせ 造形	村井 濱田 濱田 杉浦、吉村 中台、村井、濱田

年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園進級式（3日） ★クラス懇談会5才（7日）4才（21日）3才（21日） ・内科検診（18日）・歯科検診（13日） *誕生会・バイキング給食（25日） ●お弁当の日（28日） ・各種やさい種まき等始まり 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児家庭訪問 ・尿検査 ・避難訓練総合（30日） ●お弁当の日（19日） *誕生会・バイキング給食（23日） 	★まつ組親子遠足伊勢原こども科学館（19日）
6	<ul style="list-style-type: none"> ★わくわく広場（10日）雨天時（13日） ・虫歯予防のはなし（1日） ◎じゃが芋掘り・カレーパーティー（13日） *誕生会・バイキング給食（27日） 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き・花火教室（3日） ・七夕まつり（7日）おまつり会（21日） *誕生会・バイキング給食（25日） 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ組お泊り保育・藍染め（25日） *誕生会・バイキング給食（29日） 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ★引き渡し訓練（1日） *誕生会・バイキング給食（26日） 	・まつ・さくら組こどもの杜（12日）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・内科検診（17日） *誕生会・バイキング給食（26日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら組弘法山ハイキング（13日） ・もも組歩き遠足（27日） ★うめ・りんご組親子遠足（6日）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜収穫・芋掘り（13日）・収穫祭・やきいも（14日） *誕生会・バイキング給食（28日） 	★まつ組親子弘法山ハイキング（2日）
12	<ul style="list-style-type: none"> ★発表会（9日） ・クリスマス会（22日）*誕生会（19日） ・観劇・個人懇談会まつ組 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ●お弁当の日（4日）もちつき（11日） 　　どんど焼き・やきいも（18日） ★個人懇談会（除まつ） ・切り干し大根作り（17日）・味噌づくり（30日） *誕生会・バイキング給食（23日） 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき（2日） ・避難訓練総合（6日） ・お店屋さんごっこ（22日） *誕生会・バイキング給食（20日） ●お弁当の日（27日） ・マラソン大会（27日） 	
3	<ul style="list-style-type: none"> *ひな祭り誕生会（1日）交通安全教室・防犯教室 ・お別れ会バイキング給食（15日）・お茶会 ●お弁当の日（8日） ★卒園式（16日） 	・まつ組お別れ遠足（生命の星地球博物館）（8日）
その他	<p>保護者の参加 *…以上児のみの自由参加 ★…対象者全員参加 ・…子どもの活動</p> <p><毎月1回>・身体測定（20日）・避難訓練・外部講師（リトミック・えいごであそぼう・体操教室・絵画指導）</p> <p>●お弁当の日</p> <p><毎週1回>・園内開放</p> <p><年1回> ・つぼみとの交流保育</p>	

令和5年度 つぼみ保育園 事業報告書

○ 全体の総括

- ① 令和5年度4月入所は、0歳児5名だったが3月には12名まで増やすことができた。
- ② 様々な派遣先と契約し、派遣の保育士を多く入れることができ、園児も職員数に応じ増やすことができた。
- ③ 7月より園長不在の中、主任・副主任中心に監査や業務委託先との入札を進めていった。試行錯誤しながら園長業務を経験することができた。
- ④ 経営コンサルタントの前田直氏の協力のもと、「働き方改善」と「コミュニケーション課題」を中心に改善策を考えていった。チームに分かれ課題点の見直し・職員会議でのグループワークの実践を行い、全職員が意識できるよう取り組んでいる。
- ⑤ 木造舎の解体を行い、砂場の拡張を行った。開放感が増し、子どもたちものびのびと走り回る姿が見られている。
- ⑥ 以上児のテラスと1歳児クラスのテラスの修繕を行った。
- ⑦ 3歳以上児の下駄箱の撤去・新設を予定していたが実施できなかった。
- ⑧ 令和5年度より布おむつから紙おむつでの生活に移行した。

○ 取り組みの結果

- ・ 安田物産との契約が終了した。バイキング給食や行事食ではそれぞれにアイデアを出し合い、子どもたちも喜ぶものが提供できた。
- ・ お茶教室の講師には3月に1度来ていただき、卒園する5歳児クラスの園児と職員数名が体験することができた。
- ・ 保護者会の存続がなくなった。今まで保護者会主催で行っていたお楽しみ会は園内で職員と子どもたちのみで実施。園児へのプレゼントも園で対応することができ、子どもたちも楽しめていた。
- ・ 職員間、保護者とのコミュニケーションの課題は続く。まずは課題点の把握・改善策を見つけることに重点をおいていった。

○ 職員構成

令和6年3月31日現在

	施設長	保育士	栄養士	調理師	看護師	事務	保育補助	嘱託医	計
常勤	1	13	0	0	0	0	0	0	14
常的非常勤 社保加入	0	2	0	0	0	0	0	0	2
非常勤	0	2	0	0	0	2	1	2	7
計	1	17	0	0	0	2	1	2	23

嘱託医 岡本医師(内科) 近藤医師(歯科)

派遣保育士 数名 安田物産 栄養士、調理師

○ 定員等

令和 6 年 3 月 31 日現在

区分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	10	20	20	20	20	20	110
入所数	12	23	23	22	21	24	125

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 会議

- ・ 以上児・未満児・給食関係（離乳食・アレルギー）会議・全体会議と行ってきた。
- ・ 経営コンサルタントとの話し合いを週に 1 度行い、状況の整理・対応策を話し合っていた。

(2) 研修

- ・ 少しずつではあるが、リモートや DVD の活用も含め研修に参加をしていった園内研修は共通理解ができるように取り組んだ。
- ・ 園内研修(心肺蘇生法・消火訓練・通報訓練等)は、派遣の方々、安田物産の方々にも参加していただき、意識を高めることができた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
6/13	綾瀬消防本部・心肺蘇生法 (AED)	常勤・非常勤・派遣
6/20・22 26・28	吉岡保育園 訪問研修	常勤 4 名
7～8 月	児童発達支援士 DVD 研修	常勤
9 月	保育保健の基礎知識	常勤
10/4	要保護要支援の児童研修	常勤
10/19	綾瀬消防本部・消火訓練、通報訓練	常勤・非常勤・派遣・安田物産
11 月	楽器の取り扱い方	新任職員対象
11/7	防犯訓練	常勤・非常勤
2/15	不適切保育 動画研修	常勤
2/22	アレルギー 動画研修	新任職員 3 名
3/5	障がい児 動画研修	常勤 4 名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1	法人新任職員研修	戸部
4/24	法人新任職員研修(令和4年度分)	佐藤(尚)、(愛)、松尾
6/29	綾瀬市保育会・普通救命講習会	松尾、佐藤(愛)
7/25	市保育会・中堅研修 施設見学もみの木園	猿倉
7/28	苦情解決研修会	木村
8/3	法人ハラスメント研修	山田・三澤
8/31	全国保育会・ポスト待機児	木村・山田・三澤
11/17	市保育会・レクリエーション研修	常勤
11/27-28	法人新任職員・フォローアップ研修	戸部
12/22	県次世代育成課・エキスパート障害児保育	佐藤(尚)
1/22	法人・苦情解決研修	常勤
2/16	市保育会・絵本研修	常勤
2/22	市保育会・造形研修	常勤
3/8	法人・永年勤続研修	猿倉

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容		地域等交流	育児センター	
	園児	保護者と園児			
4	内科検診・子どもの日 行事食	入園進級式・クラス懇 談会		実施なし	
5	3歳以上児尿検査・交 通安全指導				
6		以上児親子遠足			
7	プール開き・花火指導・ 5歳児デイキャンプ・ス イカ割り		市社協体験学習・イン ターンシップ・実習生 受け入れ		
8	プール活動				
9	引き渡し訓練・プール 終了・歯科検診・防犯訓 練	引き渡し訓練	実習生受け入れ		
10	内科検診・ハロウィン お楽しみ会・運動会・交 通安全教室	運動会			
11	歯科検診・2歳児尿検 査・七五三		吉岡保育園との交流 (5歳児)		
12	発表会・お餅つき・クリ スマス会	発表会			
1	郵便屋さんごっこ・ど んど焼き・ 給食バイキング	保護者説明会			
2	節分・お店屋さんごっ こ		実習生受け入れ		
3	5歳児お茶教室体験・ ひなまつり・卒園遠足・ お別れ会・各クラスお 別れ遠足・5歳児とのお 茶会・卒園式	クラス懇談会 卒園式	道志会訪問		
その他	【毎月1回】— 身体測定・避難訓練・誕生会(クラス ごと) 【月1日】— お弁当の日(6月から9月はなし)				来年度は園庭解 放を実施予定

令和5年度 貴志園 事業報告書

1、 全体の総括

人権意識の相高もあって、障害児者が理想とする社会の実現に向けて必要な福祉サービスの内容がどんどん複雑してきている。一人ひとりの生活を支援するには、それぞれニーズがあり、支援内容も異なることから、加算という形で支援を広げていくことで収入も得られるような制度設計となっている。

しかし、利用者の生活は、どんなにサービスが豊富となり、日常生活が改善されたとしても、サービスを提供することに重きが置かれてしまうようであるなら満足が得られることは少ない。障害がありながらも、自分の人生を創っていくためには心と身体を建て直し、家族や親しい人たちとの関係や活動場所等の人たちとの交流も必要なり、人としての主体性を支えるという意識が支援の中で行われなくてはならないが、今日支援がサービスと呼ばれるようになることで薄れているように思える。

これからの福祉は、利用者の希望を実現していくために、福祉サービスを通して、どれぐらい創意工夫ができるかが問われている。そのためには職員の主体性を発揮し、個性を大切にしながら、専門職として障害児者にかかわる姿勢と、福祉をしていることの意識が必要となることから、管理部門を担う世代を若返りさせるなど一部体制変更を行うなどして組織風土の醸成に努めた1年であった。

道半ばではあるが、各々が期待に応え、各部署間の風通しも良くなるなどの成果が見られるとともに、課題であった入所利用者の確保、授産活動の販路拡大、新ホームに向けた準備も進むなど、相乗効果が表れている。

2、 取り組みの結果

(1) 中期運営計画における重点課題の結果

- ①貴志園の基本方針の理解のもと、ケース研究を通して「個別・チーム支援が実施できる能力の獲得（ソーシャルワーク技術の獲得）」

部門	事業	取り組み状況	達成度
生活支援部門	施設入所支援	アセスメントの見直しを行うことでの理解をより深められるよう取り組んだ他、定例会議にて対応が難しい利用者への支援検討を行うなど技術の向上に努めた。	7
	生活介護・移行 継続B型・定着	個々の特性や希望に応じた作業提供を行うために、課会議や朝の打合せ等で利用者理解を深めることで、作業意欲の向上に努めることで利用率の向上にもつながった。	7

地域生活部門	地域生活 援助事業	GHに移行してきた利用者の状況等を共有し、支援方法について検討するなどして非常勤職員を含めた全職員がチームでかかわる体制を目指した。	7
	相談支援 事業	利用者及び家族理解を深めるための方法や、関係機関との協力関係の在り方、アプローチ方法を課員で意見交換を図った。	7
在宅支援部門	放課後等 DS	子どもへの支援だけではなく、家庭とのやりとりを重視しながら支援の工夫を行った。一方、非常勤を含めた情報共有の在り方に課題でもあった。	5

②職務権限・各種規程、職務分掌に基づいた業務遂行を行う「各種役割の遂行に向けた能力の獲得」

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所 支援	職務分掌を基本とし、声を掛け合いながら業務を遂行した。キャリアパスでは目標や業務についての振り返りを行い、自身で取り組む事、全体で取り組む事など含めて確認する事に努めた。	8
	生活介護・ 移行 継続B型・ 定着	個々の職員が職務分掌に基づいて業務遂行できるよう業務的コミュニケーション（報連相）を強化した。キャリアパスでは目標に対して成果の面談を行い、次年度の目標立てを確認した。	8
地域生活部門	地域生活 援助事業	各職員の役割を明確にして日頃の業務に責任を持って取り組める雰囲気作りに力を入れてきた。キャリアパス面談時には個々に求められている役割についての認識が深められるよう努めた。	8
	相談支援 事業	各種規程に則り業務を遂行するだけではなく、疑義が生じた場合には制度や法律を確認するなどしてコンプライアンス等を意識して運営に努めた。	6
在宅支援部門	放課後等 DS	自己判断に基づく報告の遅滞や必要な情報の共有に課題があった。年度後半から意識づけを行うことで修正を図った。	4
総務部門	総務	各種規程・規則を確実に守れるよう、決められたルールを適時に促した。経理規程の遵守に関しては、規程内容の認識不足が原因で現金処理に一部厳守することができなかった。	6

③貴志園を一体として捉え、現業業務と全体業務を行うことの意識の徹底と業務的コミュニケーションの円滑を図る「貴志園内部署間及び関係機関との連携強化及び社会的責任の遂行」

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	支援を自部署だけで完結するのではなく、相談支援事業所や市町村等連携体制を構築してきた。また、利用者の生活は地域にあることから、地域の行事にも積極的に参加し、地域交流を進めた。	8
	生活介護・移行 継続B型・定着	食品部門では地域のイベント販売、地域からのお弁当注文など積極的に受注し地域貢献に努めた。	9
地域生活部門	地域生活援助事業	訪問リハ・訪問看護を利用する等外部サービスとの連携も強化し地域生活していく上でのグループホームの社会的役割に努めた。	8
	相談支援事業	市内のみならず県央障害保健福祉圏域内の関係機関とのネットワークを図り、貴志園で進めている意思決定支援の周知や新規利用者確保に努めた。	7
在宅支援部門	放課後等DS	タイムリーな報告や全園的な協力体制を構築することが難しかった。部署を超えた協力体制や関係機関との連携強化については今後の課題として取り組みたい。	4
総務部門	総務	職員が安心して業務に当たることができるよう、積極的に職員へ声をかけ状況の把握に努めた。また、連携会議では各事業所の現在の状況の把握や将来への方向性を意識した意見交換ができた。	7

④各部署における「自立した事業運営」

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	今年度末に入所の満床を達成し、短期入所も長期短期3名と収入面であげる事が出来た。	6
	生活介護・移行 継続B型・定着	経営と運営の視点を持ちながら、円滑な事業運営を行うとともに、「利用者が楽しいと思える事業所づくり」の一環としてミニイベントをするなどして利用実績が増えるよう努めた。	7

地域生活部門	地域生活 援助事業	加算算定や利用者の適正に見合った障害程度区分の見直しを行い、2名の区分変更を行うと共に職員配置の見直しにも取り組んだ。	8
	相談支援 事業	委託収入が事業実績に見合った予算になることに努め、前年よりも概ね増収となった。障害児計画相談支援事業所の当初予算に対して減収となっており、次年度以降の課題となっている。	5
在宅支援部門	放課後等 DS	収益増の為新規利用者の獲得や利用率の向上を図るよう進めてきたが、希望曜日の偏りなどにより伸び悩んだ。	3
総務部門	総務	財政面では、多種多様な利用者のニーズの変化による利用率の低下や定員割れ、および一部事業所の負債も膨らんだことが原因で今年度の資金収支差額がマイナスの事業所が多く、人件費積立金を取り崩す結果となってしまった。	5

⑤新たな時代に向けて役割の移管「組織機能の見直しに向けた模索」

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所 支援	それぞれの役割を明確にしていき、積極的に業務に取り組めるような雰囲気作りを行ってきた。	8
	生活介護・ 移行 継続B型・ 定着	人材育成、キャリアパスを通じて、今後の時代を見据えた役割転換が出来るように模索しながら進めてきた。	8
地域生活部門	地域生活 援助事業	各々が役割と目的意識を持って取り組めるように職員間での意見交換を密に行った。	8
	相談支援 事業	それぞれが役割を持ち主体的に業務遂行できるよう朝の打ち合わせを活用し進めた。	8
在宅支援部門	放課後等 DS	情報を持っている職員に差が生じることや支援に対する考え方や捉え方に対して、コミュニケーションが不足している状況でチームとしての力が発揮できなかった。	4
総務部門	総務	一人一人がスキルアップを目指し、毎月のコア業務としてテーマを決めて学ぶ時間を作るよう計画を立てたが実行することができなかった。	8

⑥新規事業の実施に向けた取り組み

部門	事業	取り組み課題	達成度
地域生活部門	地域生活 援助事業	R7年度創設予定の『第二めぐじりホーム』の準備期間として県とやり取りを行い、必要な書類の提出を行った。また、利用者選定についての協議や、自立支援協議会での報告を通して事業創設を地域に伝えていくことの準備を進めた。	8
在宅支援部門	放課後等 DS	児童発達支援センター指定管理受託に向けた取り組みとして、法人全体で取り組む方向性となり、検討委員会が立ち上がった。	8

3、職員構成

令和6年3月31日現在

	園長	副園長	部長	課長	係長	支援員	栄養士	看護師
常勤	1	1	2	6	4	18	2	1
非常勤						45		1

	心理士	理学療法士	調理員	事務員	合計
常勤			1	1	37
非常勤	1	1	2	2	52

4、定員等

令和6年3月31日現在

名称	カビーナ		コペルタ			第二椿	宮久保	にじいろ
種類	施設入 所支援	短期 入所	生活 介護	就労 継続B	就移行 就定着	共同生活介護		放課後DS
定員	30	4	23	11	6 (-)	15	15	10
現員	30	3	26	13	4 (5)	15	15	26
定員外	0	0	3	2	-2 (-)	0	0	16
合計	30	3	26	13	4	15	15	26

5、人材育成

(1) 研修実績報告

貴志園では、下図のとおり、施設（法人）で企画運営し実施している研修と外部機関等が実施している研修に派遣する形で研修機会の確保を行っている。

施設内研修については、研修委員会が企画運営を行うもの、部署単位で実施するものと多様性を確保し、知識技術の向上だけでなく部署横断的な人材交流促進も図っている。

施設外研修については「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」で定められた法定研修と貴志園のキャリアパス制度に基づく階層別研修を実施している。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、対面による施設外研修あるいはリモート形式での研修の参加など、環境変化に対応しつつ、学習機会の確保に努めた。

(2) 内部研修

研修日	研修内容	受講職員
6月22日	貴志園新任職員研修	新任職員
6月17日(7月1日) 10月21日(11月4日) 2月17日(3月2日)	貴志園全体研修	全職員対象
2月5日、3月15日	接遇研修	常勤職員(採用2年)
5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 1, 2月	ケース検討会、研修	全職員対象
その他	非常勤研修・期間職研修	各部署単位×2回

(3) 外部研修

研修日	研修内容	人数
4月26日	障害支援区分認定調査員研修	1
5月26日	障害支援区分認定調査員研修	1
5月25日～26日	防火管理者研修	1
6月15日	サービス管理責任者更新研修	1
6月22日	安全運転管理者、法廷研修	1
7月13～14日	全国知的障害関係施設長会議	1
7月13日	サービス管理責任者更新研修	1
7月26日	サービス管理責任者更新研修	1
7月21日	サービス管理責任者基礎研修	1
7月27日	新任職員人権研修	3
7月23日～8月21日(7日)	てんかん基礎講座	1
7月14～7月27日	サービス管理責任者補足研修	1
9月13～14日	相談支援専門員専門コース別研修(地域移行・定着)	1
9月22日	就労支援会計の疑問、徹底解説	1
10月18日	SNS活用セミナー	1

研修日	研修内容	人数
11月16～17日	全国知的障害福祉関係職員研究大会	1
11月13日	かながわ地域生活移行推進人材養成研修	1
11月27～28日	新任職員フォローアップ研修	2
11月22日	神奈川県発達障害者支援センター支援者向け研修	2
11月8～9日	職業リハビリテーション実践発表会	1
12月21～22日	強度行動障害支援者養成基礎研	1
12月1日	事務研修部会（BCP策定のポイント）	1
12月1日	全国相談支援ネットワーク研修会	1
12月15日	回復力をつけていこう	1
1月11日	事務研修会（報酬改定の概要）	1
1月18～19日	強度行動障害支援者養成実践研修	1
1月31日	ゲートキーパー養成講座	1
2月14日	プロフェッショナルを目指す自分の育て方	1
2月10～11日	障がいのある人を支援する防災研修会	1
2月8日	法人事務研修会	1
3月6日	障害福祉サービス報酬改定研修	1
3月13日	職場の課題形成問題解決研修	1
合 計		36人

6、年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	花見 自治会（中止）	
5		
6	自治会（中止）	フェスタ（中止）
7	大掃除（入所） 心肺蘇生法（中止） 災害備品組み立て（中止）	グループレク：江ノ島水族館（7/2）
8	自治会（9/26に延期）	グループ旅行：箱根（8/26-27）
9	総合防災訓練（9/14） 健康診断（9/22） しらさぎ祭（9/23） 害虫駆除（9/20）	グループレク：ロマンスカーミュージアム（9/2）

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
10	自治会（中止）	
11	インフル予防接種（11/8） 心肺蘇生法（2/21に延期）	グループレク：みかん狩り（11/11）
12	餅つき（中止） 自治会（中止） 大掃除（入所） クリスマス会（12/22） 忘年会（12/28）	グループ旅行：富士サファリパーク（12/2-3）
1	災害備品組み立て（中止）	グループ旅行：八景島シーパラダイス（1/13-14）
2	節分（2/3） 自治会（中止）	グループレク：カラオケ（2/10）
3	総合防災訓練（3/11） ひな祭り 自治会 利用者健康診断（3/16） 害虫駆除（3/19）	
<p>その他</p> <p>・今年度からグループ旅行やレクも通常通り実施をすることが出来ている。利用者自治会も選挙を行うなど活動を少しずつ通常に戻し始めている。しらさぎ祭については、外部の方は呼ばず実施。来年度以降は通常通りにしていくか検討していく。</p>		

総務部門

生活支援部門（カビーナ・コペルタ貴志園）

カビーナ貴志園（施設入所支援・生活介護事業・短期入所事業）

コペルタ貴志園（就労継続B型事業・生活介護事業

・就労移行支援事業・就労定着支援事業）

生活支援部門（マーレ貴志園）

ホーム貴志園（地域生活援助事業）

相談センターゆいまる（相談支援事業）

在宅支援部門（にじいろ貴志園）

にじいろ（放課後等デイサービス事業）

